



- ▶ 職種：行政職 事務
- ▶ 係長歴：2年目
- ▶ 採用後昇任までの経歴：北区役所（採用・3年）→総務局（12年）
- ▶ 昇任後経歴：
令和4年4月～ 総務局総合調整部総合調整室 主査

【現在の仕事】

当室では、「若い世代が、学び、遊び、働けるまち」の実現に向け、大学連携・学生生活支援の取組を推進しています。市内にキャンパスを置く大学とのネットワークを通じた情報交換や、学生向けポータルサイト等の運営のほか、令和4年度からは新たに、将来の名古屋を担う学生に社会課題解決の実践機会を提供するプログラムを各局協力のもと実施しています。

チームと一緒に悩み考え、市政を動かしていく

一係長をめざしたきっかけは？

一つ目は、名古屋市の職員としての年次が上がるにつれて、後輩職員の指導をする立場になったときに、係員の立場からだけでなく、役職者としての考えも踏まえて指導した方が、名古屋市のためにも育てる職員のためにもなるのではないかなと思うようになったこと。

二つ目は、先の先を考えて上司のフォローや係運営を行っている係長が身近にいらっちゃって、自分もこうありたい、こうなりたいと思うロールモデルが明確になったこと。

この二つが大きく影響し、係長職を目指しました。

一係長職の魅力とは？

自分の意見に重みをもたせてもらえることですね。仕事の方向性を決めるときは、係員と検討に検討を重ね、上司とも協議した結果が最終的な方向性になりますが、一定の責任をもって仕事させてもらって、自分としてはこうしたいという意見を反映させやすくなったことを魅力に感じています。

また、仕事をしていく過程でも横のつながりが増えて、わからない仕事を聞きやすくなったり、情報を得やすくなり自分自身の仕事の質も変わったように思います。知り合いの多さは、仕事のしやすさに直結すると思います。

あとは、やっぱり給与面についても係員より上がったので、その面も魅力ではあると思います。

一係長になる前に不安に感じていたことは？

「常に正しい判断ができる」という自信がなく、部下に迷惑をかけてしまうのでは？と不安に感じていました。もちろん一人で考えなければならぬこともありますが、実際は、上司・部下と一緒にチームで仕事をしているので、何が市政にとってより良い判断なのかを皆で考え、進むべき方向をチームで決めていきます。気持ち的には、最初から係長ではなくて、日々成長して係長になっていくものかなと感じています。

コミュニケーションを大切にすれば、昇任前に考えているほど不安は多くないと思います。

一これから係長を目指す職員へメッセージを！

係長を目指すときに不安がない人はいないと思いますし、昇任のタイミングも人それぞれでいいと思っています。ただ、自分の気持ちの「無理かも」より「出来るかも」が少しでも大きくなったら、選考を受けてみるとういのではないのでしょうか。

今よりも少し視野を広げ、身近な役職者に目を向けたりして、自分もこうなりたい、こういう風に働きたい、真似してやってみれば自分にもできるかも？と思うイメージを見つけられると、最初の大きな一歩が踏み出せるかもしれません。ぜひ係長職を目指してみてください。



学生ワークショップに同席した様子

ある一日の仕事

- 8:15 (早出勤務)
業務確認：メールチェック、決裁承認等確認
- 9:30 業者打合せ
※学生イベントの運営に関して
- 11:00 関係課との打ち合わせ
※本市事業の学生への周知に関する相談
- 14:00 出張
※学生チームとプログラム関係部署との意見交換に同席
- 16:00 上司への説明
※当室主催の会議資料について説明
- 17:00 退庁